



平成30年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年12月27日

上場会社名 岡谷鋼機株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 7485 URL <http://www.okaya.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岡谷 篤一  
 問合せ先責任者 (役職名) 企画本部企画部長 (氏名) 小池 守 (TEL) 052-204-8133  
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第3四半期の連結業績 (平成29年3月1日～平成29年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第3四半期	618,936	14.2	13,156	29.5	16,809	29.2	11,729	36.7
29年2月期第3四半期	542,201	△9.6	10,160	△21.0	13,010	△21.4	8,577	△23.4

(注) 包括利益 30年2月期第3四半期 23,613百万円( 33.2%) 29年2月期第3四半期 17,730百万円( 111.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第3四半期	1,218.29	—
29年2月期第3四半期	890.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第3四半期	489,204	206,040	40.2
29年2月期	446,726	184,427	39.3

(参考) 自己資本 30年2月期第3四半期 196,879百万円 29年2月期 175,654百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	85.00	—	90.00	175.00
30年2月期	—	90.00	—	—	—
30年2月期(予想)	—	—	—	90.00	180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想 (平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	820,000	8.9	16,000	10.6	19,500	8.0	13,000	12.0	1,350.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 一 、除外 一社(社名) 一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期3Q	9,720,000株	29年2月期	9,720,000株
② 期末自己株式数	30年2月期3Q	92,146株	29年2月期	91,963株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期3Q	9,627,974株	29年2月期3Q	9,628,242株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、堅調な米国経済に加え、中国及び新興国経済が底堅く推移し、緩やかな成長が持続しました。

日本経済は、輸出と設備投資の伸びなどで製造業の生産活動が高水準を維持し、堅調に推移しました。

このような状況下にあつて、当第3四半期連結累計期間における売上高は、6,189億36百万円で前年同期比14.2%の増収となりました。

損益につきましては、売上総利益が434億43百万円（前年同期比12.5%増）、営業利益が131億56百万円（前年同期比29.5%増）、経常利益が168億9百万円（前年同期比29.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は117億29百万円（前年同期比36.7%増）となりました。

これを、事業のセグメント別に見ますと、次のとおりであります。

## (鉄鋼)

鉄鋼部門は、鋼材価格の回復に加え、土木・建築、製造業向けで数量を伸ばし、好調でした。

特殊鋼部門は、建機等の産業機械や自動車の生産が国内外で回復し、好調でした。

海外は、鋼材価格の回復に加え、北米及びアジア地区における販売が伸びました。

鉄鋼セグメントの売上高は、2,567億23百万円（前年同期比19.3%増）となりました。

## (情報・電機)

非鉄金属部門は、原材料価格の上昇に加え、電子部材や自動車関連を中心に国内外で需要が伸び、好調でした。

エレクトロニクス部門は、通信機器関連が減少しましたが、FA関連や自動車関連が増加し、堅調でした。

情報・電機セグメントの売上高は、1,356億70百万円（前年同期比17.6%増）となりました。

## (産業資材)

化成品部門は、樹脂原材料価格の上昇に加え、自動車関連などで数量を伸ばし、好調でした。

メカトロ部門は、設備の輸出が落ち込みましたが、国内は航空機関連をはじめ、設備機械や部品・工具が伸び、順調でした。

産業資材セグメントの売上高は、1,851億77百万円（前年同期比8.3%増）となりました。

## (生活産業)

配管建設部門は、分譲マンションの販売が増加しましたが、建築物件の請負工事が減少、またガス関連資材が軟調に推移し、横ばいでした。

食品部門は、水産物の輸入が落ち込みましたが、鶏肉・鶏肉加工品等の販売が増加し、順調でした。

生活産業セグメントの売上高は、413億65百万円（前年同期比2.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は4,892億4百万円となり、株式市況の好調に伴う投資有価証券評価額の増加などにより前連結会計年度末に比べて424億78百万円増加しました。

負債は2,831億64百万円となり、仕入債務の増加などにより前連結会計年度末に比べて208億65百万円増加しました。

純資産は2,060億40百万円となり、その他有価証券評価差額金の増加や利益剰余金の増加などにより前連結会計年度末に比べて216億12百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期の業績は概ね計画通りに推移しており、現時点においては平成29年3月31日発表の予想数値を据置いております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,627	13,640
受取手形及び売掛金	164,740	172,924
電子記録債権	23,137	27,744
商品及び製品	43,199	51,592
仕掛品	4,530	7,788
原材料及び貯蔵品	1,496	1,582
その他	9,186	10,206
貸倒引当金	△553	△555
流動資産合計	258,364	284,923
固定資産		
有形固定資産	40,215	39,496
無形固定資産	1,292	1,226
投資その他の資産		
投資有価証券	128,404	144,248
その他	18,735	19,592
貸倒引当金	△286	△281
投資その他の資産合計	146,853	163,559
固定資産合計	188,361	204,281
資産合計	446,726	489,204

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	88,928	99,303
電子記録債務	17,754	17,416
短期借入金	87,842	94,796
未払法人税等	2,668	1,740
賞与引当金	1,224	2,288
その他	9,687	13,400
流動負債合計	208,105	228,945
固定負債		
長期借入金	19,089	14,592
繰延税金負債	29,181	33,618
役員退職慰労引当金	759	754
退職給付に係る負債	1,738	1,796
その他	3,423	3,455
固定負債合計	54,192	54,218
負債合計	262,298	283,164
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,128	9,128
資本剰余金	7,798	7,798
利益剰余金	101,345	111,341
自己株式	△455	△457
株主資本合計	117,817	127,810
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,771	66,972
繰延ヘッジ損益	△49	△19
為替換算調整勘定	△150	438
退職給付に係る調整累計額	1,267	1,677
その他の包括利益累計額合計	57,837	69,068
非支配株主持分	8,772	9,160
純資産合計	184,427	206,040
負債純資産合計	446,726	489,204

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
売上高	542,201	618,936
売上原価	503,577	575,493
売上総利益	38,623	43,443
販売費及び一般管理費	28,463	30,286
営業利益	10,160	13,156
営業外収益		
受取利息	960	1,036
受取配当金	2,406	2,772
持分法による投資利益	724	819
その他	638	511
営業外収益合計	4,729	5,140
営業外費用		
支払利息	984	1,210
手形売却損	17	15
その他	877	261
営業外費用合計	1,879	1,486
経常利益	13,010	16,809
特別利益		
固定資産売却益	20	14
投資有価証券売却益	0	0
その他	0	—
特別利益合計	21	14
特別損失		
固定資産処分損	23	15
減損損失	114	—
投資有価証券評価損	—	22
退職給付費用	—	47
その他	9	0
特別損失合計	146	86
税金等調整前四半期純利益	12,884	16,738
法人税、住民税及び事業税	4,335	5,083
法人税等調整額	△421	△650
法人税等合計	3,914	4,432
四半期純利益	8,970	12,306
非支配株主に帰属する四半期純利益	393	576
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,577	11,729



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
四半期純利益	8,970	12,306
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,670	10,255
繰延ヘッジ損益	47	30
為替換算調整勘定	△3,353	411
退職給付に係る調整額	285	412
持分法適用会社に対する持分相当額	△890	196
その他の包括利益合計	8,760	11,306
四半期包括利益	17,730	23,613
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,537	22,960
非支配株主に係る四半期包括利益	193	652

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	215,204	115,390	171,063	40,542	542,201	—	542,201
セグメント間の内部売上高 又は振替高	604	1,323	561	1,002	3,491	△3,491	—
計	215,809	116,713	171,625	41,544	545,692	△3,491	542,201
セグメント利益	3,208	2,207	3,917	1,132	10,465	△305	10,160

(注)1. セグメント利益の調整額△305百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	鉄鋼	情報・電機	産業資材	生活産業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	256,723	135,670	185,177	41,365	618,936	—	618,936
セグメント間の内部売上高 又は振替高	712	1,454	409	1,164	3,740	△3,740	—
計	257,435	137,124	185,586	42,530	622,677	△3,740	618,936
セグメント利益	4,346	3,123	4,822	1,576	13,868	△712	13,156

(注)1. セグメント利益の調整額△712百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。